

事務事業名	大東高等学校特別支援事業		所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育政策課		
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	キャリア教育政策G	課長名	川西泰恵	
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	福島勇樹	電話番号	0854-40-1074 (内線) 2274	
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。				
	基本事業	〈077〉地域力を活かした教育の充実		予算科目	会計: 0:150:0:3 款: 0:510:4:7	大事業名	教育推進事業	
目的・対象	児童・生徒	意図	地域の力を活かして学ぶ。				中事業名	大東高等学校特別支援事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①生徒②高校	寄宿舎を整備することにより、遠方からの入学者が増え、多様性のある魅力ある教育環境がつけられる
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( R5 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	県が設置する寄宿舎のない大東高等学校において、遠方からの入学者を確保するための特別支援策として、雲南市において空き家を活用した寄宿舎の整備を行った。
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・空き家を高校の寄宿舎として改修した。	・これまで遠方からの入学希望者に対しては、まち親(個人下宿)により対応していた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 受入定員(個人下宿)	人		(4)	10(5)	10(5)
イ 受入人数(個人下宿)	人		(2)	0(2)	0(1)
ウ 市外入学者数(昨年度増減)	人			12(+1)	
R6春実績					
エ 市内入学者数(昨年度増減)	人			40(▲17)	
R6春実績					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
	備品購入費 606千円 負担金 15,000千円 補償金 555千円 需用費ほか 23千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
	県支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円			16,184	
	一般財源		千円				
	事業費計		千円	0	0	16,184	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	長年の課題となっていた大東高校における遠方からの生徒受入環境の改善を図ることができた。これにより、高校の入学者獲得に向け、年度の早い段階から積極的な生徒募集が行える環境が構築できた。 (しまね留学推進校へ登録による県外生徒を対象としたオンライン説明会への参画、学校案内のリニューアル、インスタグラムの開設等)
② 事業実施するうえでの課題	・今回整備した寄宿舎は男性用であり、引き続き女性用の受入環境の確保を図る必要がある。 ・市で整備したみなし寄宿舎のため、管理運営を雲南市において行うこととなり、物的・人的両面における維持管理費の確保が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・さらなる受入環境の確保に向けては、大東高校卒業生会や地域の理解協力を得ながら情報収集に努める。 ・持続可能な管理運営に向けては、県補助金の活用に加え、定員充足率の向上、地域運営団体の立ち上げ等による効果的かつ効率的な運営を図る。